

令和4年4月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年4月28日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂教育総務課長(中央公民館長)、浦図書館長、大野博物館長、山口教育総合センター所長、川淵学校給食センター所長、竹口スポーツ振興課長、川上教育総務課主査

5 協議事項

【付議案件】

- (1)案件第1号 氷見市社会教育委員の補欠の委嘱について(教育総務課)
- (2)案件第2号 氷見市立図書館協議会委員の任命について(図書館)
- (3)案件第3号 氷見市立博物館協議会委員の補欠の任命について(博物館)
- (4)案件第4号 氷見市公民館運営審議会の委員の委嘱について(中央公民館)
- (5)案件第5号 氷見市スポーツ推進審議会委員の任命について(スポーツ振興課)

【報告案件】

- (1)報告第1号 氷見市公民館館長及び主事の任命について(中央公民館)
- (2)報告第2号 氷見市学校給食センター運営審議委員会委員の委嘱について(学校給食センター)
- (3)報告第3号 氷見市学校給食センター給食指導委員会委員の委嘱について(学校給食センター)
- (4)報告第4号 氷見市学校給食センター栄養管理委員会委員の委嘱について(学校給食センター)
- (5)報告第5号 氷見市スポーツ推進委員の委嘱について(スポーツ振興課)

6 会議内容

(会議に先立ち、新規参加職員の紹介・挨拶)

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年3月23日(水)から4月28日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

[質疑応答]

・第32回安部賞表彰式について

委 員 例年になく分野からの受賞で新鮮味があってよかった。ただ表彰状について以前は手書きしていた記憶があるが、今回はワープロの文字になっていた。いつから変わったのか教えてほしい。

事 務 局 3回前の表彰状からワープロに変わっている。筆耕を依頼していた方から文字が小さいため書くことが大変であるとのこと意見をいただいたこと等が変更の経緯である。

・文化財訪問について

委 員 市内の文化財はいくつぐらいあるのか？

事 務 局 国の指定がこれまで8件だったが先般増えて11件、県の指定が11件、市の指定が51件である。

委 員 何か一覧になっているものはあるのか？

事 務 局 最近の新しい登録(みなとがわ倉庫等)は入っていないが、文化財マップがあるので、またお配りしたい。

(3) 協議内容

案件第1号は天坂教育総務課長が、案件第2号は浦図書館長が、案件第3号は大野博物館長が、案件第4号は天坂中央公民館長が、案件第5号は竹口スポーツ振興課長が説明し、それぞれ可決された。報告案件について報告第1号は天坂中央公民館長、報告第2号、報告第3号、報告第4号は川淵学校給食センター所長、報告第5号は竹口課長が説明・報告した。

(4) 6月の定例教育委員会議を6月30日(木)午後3時に決定した。

(5) その他 5月の行事予定を各所属長等が説明した。

[質疑応答]

・文化財(古墳)について

委 員 文化財について、古墳の階段が壊れて歩けない状態で閉鎖になっているが、修理する予定はあるのか？

事 務 局 順次傷んできており、予算をつけて修理してきているが、できてから10年以上経過しているため修理が追い付いていない状況である。今後の方針としては二上山に降りていく長い階段があるが、1回そこを封鎖して残りを修理していく対応を考えている。

委 員 二上山の斜面のところは、草も刈られていて綺麗になっていたが、ボランティアの方がやっているのか？

事 務 局 シルバー人材センターに年間委託しており、その中で実施している。

・病休中におけるタブレットを活用した授業について

- 委員 治癒証明書の必要な病気になった際、まだ症状があるからという理由で治癒証明書を出してもらえず学校を休まないといけな場合、タブレットを活用して家で授業を見ることができたりするのか？
後から先生に授業のフォローはしてもらえるとと思うが、体はいたって元気であることから、授業を一方的に見るだけでもできれば良いのではないかな。
- 事務局 お子さんの年齢などいろいろな要素があるので全体として一律的な対応は難しいが、保護者からの要望があった場合は、個々に応じて対応したいと考えている。
- 事務局 氷見市は授業を流しっぱなしにするのは、先生方の負担も大きく、効果もなかなか上がらないことから行わない方針である。3日ほどであれば反復練習さえしっかりすればそんなに影響はないと考える。よっぽど長引く場合など、特殊なケースのみ対応を考える必要はあるかもしれない。

・複式学級について

- 委員 どこの学校も子どもの数が激減しているが、複式学級の基準について教えてほしい。(灘浦小学校の場合を例示。)
- 事務局 15人以下であれば複式になる。1年生を含む学年は8人以下の場合は複式になる。灘浦小学校の場合は13人で複式になっている。5年、6年生に至っては4人と10人で合わせて14人なのでこれも複式になるが、複式の基準に該当する場合でも加配をいただいてなるべく複式を解消しようとしている。灘浦小学校の場合は2つ複式の基準に該当しているが、そのうち1つは加配により解消している。なるべく先生を投入して複式を解消しようと考えているし、事務局にも働きかけをしていきたいと考えている。
- 委員 最近はいろいろな加配があるが、それでなんとかできないのか？14人も13人もあまり変わらないのではないかな。また、低学年を複式にしたほうが先生方はたいへんではないかなと思うが。
- 事務局 加配1名に対してどの学年を複式解消するかは学校の意見を聞いて決定している。5、6年の複式を解消したほうが、よりよくなるという学校の判断だと思う。

・学校の再編について

- 委員 最近、富山市で学校再編に関する話し合いが行われている。氷見市は今後どのような感じになっていくのか。考え等あれば教えていただきたい。
- 事務局 これまで言っている通り、現在のところ統合は考えていない。たとえ子どもの数が少なくなってもICTやスクールバスを利用して大きな学校以上の教育効果が上がるということを発信し続けたいと思う。統合はいずれ避けて通れないとは思っているが、地域の方と話をしながら1年でも長く現状を維持できるように取り組んでいきたい。
- 委員 小さな学校でも、いろいろな取り組みをしていると子どもたちも生き生きとしているし、教育効果も上がっている感じがするので、あまり適正規模等にこだわる必要はないのではという気はしている。地域との関わりを加味しながら教育活動が進んでいるのであれば良いのではないかな。

- 事務局 大きな集団の中で孤独になる子どもを作るよりも、小さな学校の中で一人一人を大事にする。子どもたちが一生懸命頑張るしかない環境というのはそんなに悪くない環境だろうと考えている。
- 委員 問題として、保護者が在籍する子どもが少ない学校は嫌だという理由で大きな学校に流れるといったことが可能性として高い感じがする。教育委員会にも頑張ってもらおう一方で地域は地域として頑張らないといけない。
- 委員 若いお父さんお母さんに魅力ある教育を仕組んでいくことが大切であり、それには教育委員会でいろいろな案を練っていく必要がある。小さい学校ならではの取り組みがあれば良いと思う。

(6) 閉 会 午後3時55分

令和4年5月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年5月26日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂教育総務課長(中央公民館長)、山口教育総合センター所長、竹口スポーツ振興課長、川上教育総務課主査

5 協議事項

【付議案件】

(1)案件第1号 令和4年度6月補正予算(案)について(教育総務課ほか)

【報告案件】

(1)報告第1号 教科書展示会について(教育総合センター)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年4月29日(金・祝)から5月26日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

[質疑応答]

・休日部活動の地域移行について

委 員 小学校の教員が部活動の顧問をしていたのは生徒指導の一環という考え方があったからであり、確かにそのような機能もあると思うが、社会体育にうまく移行できるのか。予算だけでなく指導者の問題(素晴らしい指導者ばかりとは限らない)もある。また、中学校の場合は原則、全員部活動制をとっており、運動が苦手な場合はボランティア部などを作って活動しているが、移行された場合にどういう捉え方をするのか。生徒指導との絡みも含めて考えていかなければいけないと思う。

事 務 局 全員部活動制は今の時代にはそぐわない。その他、おっしゃられた問題は先に取り組んでいる市町村でも同じことが言われており解決の方策は見つからない。子どもたちのスポーツを社会がどういう形の下支えでやっていくのかという道筋はまだ

ついていない。ここ2・3年の間にやりながら最もいい方法で地域移行していくことになるが、学習指導要領の変更等、学校での部活動の在り方についても根本的に考え直さないといけないし、やはり人材の確保が最後のネックになるだろう。

事務局 休日の段階的な地域移行について、来月早々にも在り方検討会(実務レベル的なもの)を開催して、現状と今後の進め方について協議していきたいと考えている。人材の確保がネックになるだろうし、指導者の質についても注意を払っていく必要がある。

事務局 2学期ぐらいまでに、今後の在り方について発信できたら良い。できなければ来年にでも。何とか3年間の間にいろいろな意見をいただき、修正を入れつつソフトランディングできれば。

同様に、コミュニティ・スクール化に関しても意見をいただきながら、2～3年越しに結論を出していきたいと思う。

どちらも、教育委員会の方針を押し付けるのではなく、地域から出てきた意見に対して教育委員会が方向性を示す形になれば良いと思っており、そのように準備していきたい。

・防犯協会総会について

委員 窃盗が多いということだが、青少年等の割合はどうか。

事務局 割合については、特に触れられていなかった。

事務局 16件程増えており、そのうち11件は無施錠ということで、施錠の意識付けについて言及があった。

(3) 協議内容

案件第1号は天坂教育総務課長(一部予算案の詳細については天坂教育総務課長及び濱井参事)が説明し、それぞれ可決された。報告第1号は山口教育総合センター所長が説明した。

[質疑応答]

・市民会館跡地利用について

委員 広場整備の図面にある5つのものは何ができる予定なのか。

事務局 ベンチをイメージしているが、形状は決まったものではない。座れるものを置きたいと考えている。

委員 曳山は展示を意図しているのか、収納を意図しているのか。

事務局 両方意図している。市の思いとしては町内にご協力いただければ、各町内の曳山を1年間ずつ交代で展示・収納できないかと考えている。

委員 5町すべてを一堂に展示するのではなく、1つずつ展示するということか。

事務局 県内にもいくつか展示施設はあるが、ほとんどは一部展示かと思う。5町すべて展

示し、かつ他の機能を盛り込むとなると費用的に倍以上はかかると思われる。展示の規模についても各町への意向調査でお伺いしているところである。

委員 誰も見に来ないような展示なら意味がないが。

事務局 番屋街には多くのお客さんが来ているが、次に呼ぶところがないという話がある。次に観光で寄っていただくときに氷見市を紹介できる場所を作りたいということと、市民が憩える場所も合わせて整備したいと考えて機能の絞り込みをした。ここから、博物館や各町内の曳山倉庫等への導線を付けていけたらと考えている。

事務局 曳山の展示については、今あるものに手を加えるということではなく、氷見には祇園祭という市民が楽しんでいる歴史ある祭があり、それを彩る歴史ある曳山があるということ、ありのまま紹介する展示になると思う。

事務局 曳山展示だけではなく、太鼓台やまるまげなど氷見の祭りを体験コーナーとして集約することも考えている。

委員 広場整備はどのような内容を考えているのか。芝生と築山、ベンチだけというのはどうなのか。親子で楽しめるような広場等、皆が行きたいと思うようなものにしないと1回きりで終わってしまうのでは。また2回目も行ってみようと思わせるような工夫が必要ではないか。

事務局 メインは建物ということもあり、面積的にも費用的にも広場をメインとはできない制約もある。家族みんなで楽しめるような機能は氷見発見館の中で持たせていきたい。

委員 そのためにも、子どもが体を使って遊べる広場があれば良いと思う。

委員 建物については、熊無の藤箕や三尾の竹細工など、氷見の素晴らしいものをどンドン展示した方が、子どもたちも氷見のことを勉強できて良いのでは。

事務局 館内には多目的体験広場があり、そこで、そうした伝統工芸の体験を行ったり、映像で流したり、本物を展示するといったこともできると思うので、また、皆さんのご意見を聞きながら検討していく。

事務局 観光的な要素等は後から加えられた部分で、本来の構想は、氷見にはあまりない親子や若者が集ってのんびりできる空間づくりである。

・学校給食物価対策支援事業について

委員 昨年との比較だが、人数が少ない学校(灘浦小)で値上り幅が小さくて、人数が多い学校(西條中)で値上がり幅が大きいのはなぜか。

事務局 あくまでも昨年4月と今年4月と比較したもので、例えば調味料とかをまとめて買えばその月は多くなる。単に人数が少ない学校の方が4月に多く経費を使ったということである。

事 務 局	4月に高騰したものをたまたま使った学校は幅が大きくなるし、そうでない学校は小さくなる。あくまで予算計上のための比較であり、実際に出た差額については予算の中できちんと補助していく。
事 務 局	自校給食があと4校あるが、将来的にはセンター化していきたいと考えている。
委 員	それは、学校で決めていくことか。
事 務 局	こちらで、決めていかなければならないと思っている。 市全体として考えていく必要がある。

(4) その他 6月の行事予定を各所属長等が説明した。

(5) 事務局より配布物の説明を行った。また、7月の定例教育委員会議を7月28日(木)午後3時に決定した。

(6) 閉 会 午後4時22分

令和4年6月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年6月30日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂教育総務課長(中央公民館長)、山口教育総合センター所長、竹口スポーツ振興課長、小谷教育総務課長補佐、釜田学校教育課長補佐、川上教育総務課主査

5 協議事項

【付議案件】

(1) 案件第1号 令和5年度国・県要望について(学校教育課)

【報告案件】

(1) 報告第1号 夏季休業中における教職員研修及び、若手教員研修について(教育総合センター)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年5月27日(金)から6月30日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

また、市議会6月定例会の一般質問要旨を天坂教育総務課長、濱井参事、竹口スポーツ振興課長が報告した

[質疑応答]

・市議会本会議の質問について

委 員 市民会館跡地整備のカフェについて、子どもたちが買って持ち込んで飲みながら勉強できる環境であれば利用するのではないかと。

委 員 カフェはどの程度のものを考えているのか。

事 務 局 手軽に利用できるカフェやそこでしか味わえないものがあるカフェ等いろいろな

選択肢の中でどのような形が良いか、建物のコンセプトや経費的な観点等も含め検討していきたい。

委員 文化的な地域というコンセプトで作る計画になっていると思うので、それを考慮したカフェになるのではないかと考える。

委員 美術館とかへ行くと必ずカフェがあり、作品を見た後で落ち着いているいろいろな話をする場所としてのカフェは意味があると思う。どう運営するのか経費的な面もあるので検討していただきたい。

事務局 建物の内容については、現時点で決まっているものは何もないので、ご意見をいただきながら方向性を定めていきたいと考えている。

委員 カフェがあれば女性はうれしいのではないと思う。
女性が行きたくなるようなカフェであれば良いのでは。

(3) 協議内容

案件第1号について濱井参事が説明し、可決された。報告第1号について山口教育総合センター所長が説明した。

(4) その他 7月の行事予定を各所属長が説明した。

(「ふるさと氷見に親しむ日」について、詳細を小谷教育総務課長補佐が説明した。)

(5) 事務局より配布物の説明を行った。また、7月の定例教育委員会議を7月26日(火)午後4時に変更する旨及び8月の定例教育委員会議を8月25日(木)午後3時に開催する旨を決定した。

(6) 閉 会 午後4時12分

令和4年7月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年7月26日(火) 午後4時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、天坂教育総務課長(中央公民館長)、大野博物館長、山口教育総合センター所長、竹口スポーツ振興課長、釜田学校教育課長補佐、川上教育総務課主査

5 協議事項

【報告案件】

- (1) 報告第1号 令和4年度「氷見市児童生徒科学作品展覧会」の作品募集について(教育総合センター)
- (2) 報告第2号 子どもの運動指導研修会の開催について(スポーツ振興課)
- (3) 報告第3号 令和4年度学校法人日本体育大学派遣(合宿)事業について(スポーツ振興課)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年7月1日(金)から7月26日(火)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

(3) 協議内容

報告第1号について山口教育総合センター所長、報告第2号及び第3号について竹口スポーツ振興課長が説明した。

[質疑応答]

・科学作品について

委員	科学作品の展示の際に、担任の先生から指導内容の紙を付けていただいていると思う。ある保護者が、展示された作品を見に行った時に、事前に聞かされていない指導内容が書かれていたことに対し、嫌な気持ちになったという話をされていた。親子で一緒に熱心に取り組まれた方だからこそその意見だと思う。難しいことだが何か改善できないか。
----	---

事務局	市の出品票の下には、指導事項という欄がある。保護者の方に確認を取り、共通理解を図って書いておられる先生もいる。
委員	市の出品票には書かないということではダメなのか。
委員	全てではなく、指導したら書くということにしてはどうか。
委員	子どもや保護者と共通理解が図れた場合については書くこととし、そうでない場合は書かなくても良いことにしたらどうか。審査結果に直接影響があるものではないし、無理に書く必要を無くすことで先生の負担も減る。
事務局	自分の記憶では指導事項というよりも、その素晴らしさを伝えるために書いていたと思うが、指導事項という言葉になると誤解を招くこともあるので、取り扱いについて検討したい。

(4) その他 8月の行事予定を各所属長が説明した。

(「博物館ナイトミュージアム」について、詳細を大野博物館長が説明した。)

[質疑応答]

・親子とんぼ教室について

委員	親子とんぼ教室について、今までだと栗山静子先生が指導されていたと思うが怪我で入院されたと聞いた。その後、どうなっているか。
----	---

事務局	現在、親子とんぼ教室は、栗山先生が「親子とんぼ教室」で指導した社会人2名が中心となり、年4回、継続的に実施していただいている。
-----	---

・図書館について

委員	毎月、新刊図書の案内を送っていただいている。大変参考になっており感謝している。また、本を借りに行ったらまた貸出中であつた場合に、新たに購入したり他の図書館から借りたりするようなサービスもされている。このように図書館の皆さんにも頑張ってもらっているのので、市民会館跡地の施設にも図書館の皆さんに頑張ってもらえる空間ができればいいなと思っている。
----	---

・夏休み中の行事について

委員	博物館ナイトミュージアムなど夏休み中にいろいろな行事が予定されているが、新型コロナウイルス感染症がまた増えてきている。中止する基準等はあるか。
----	---

事務局	2時間の間で来ていただくということで、事前申し込み制で人数を把握している。また、館内が混雑した場合は少しお待ちいただくことも了承いただいているので、様子を見ながら判断してまいりたい。
-----	---

(5) 事務局より9月の定例教育委員会議を9月29日(木)午後3時に開催する旨を決定した。

[質疑応答]

・ジェンダー制服の導入について

- | | |
|-------|--|
| 委 員 | 北部中学校の校長名で「ジェンダー制服導入の検討」という文書が小学校6年生の保護者宛てに届いた。いきさつはわからないが教育委員会としてはどのような立場でいるのか。また、今後どうなるのか教えてほしい。 |
| 事 務 局 | 今のところ北部中学校からは、相談や報告は届いていない。 |
| 委 員 | それは学校に任されている事項か。 |
| 事 務 局 | 新しい学校ができた時に、その学校の制服をどうするかも学校と地域の方々との話し合いで決まっていく。ジェンダーフリーの制服についても地域の方々のご意見を広くいただくよう動いているのだと思う。 |
| 委 員 | 文書内容は、従来の制服に加えてジェンダーフリーの制服を選択しても良いという書かれ方であったが、保護者の方も知らないようであったし、市立の学校であるので教育委員会も把握すべきと思うし指導もあっていいのではないかと思う。今後の動きについて見守っていただきたい。 |
| 事 務 局 | もう少し様子を見たい。話題として盛り上がってきたら、学校として考えていることに対する教育委員会のスタンスは、またこの場で話し合っ出ていきたい。ただ、教育委員会の許可をもらうような事項では無いと思う。 |

(6) 閉 会 午後4時53分

令和4年8月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年8月25日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員
(欠席:關野洋香委員)

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂教育総務課長(中央公民館長)、大野博物館長、山口教育総合センター所長、竹ロスポーツ振興課長、川上教育総務課主査

5 協議事項

【付議案件】

- (1) 案件第1号 氷見市公民館条例の一部改正について(中央公民館)
- (2) 案件第2号 氷見市芸術文化館の附属設備の利用料金の額について(教育総務課)
- (3) 案件第3号 令和4年度9月補正予算(案)について(教育総務課ほか)
- (4) 案件第4号 氷見市立博物館協議会委員補欠の任命について(博物館)

【報告案件】

- (1) 報告第1号 地域活性化起業人について(スポーツ振興課)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年7月27日(水)から8月25日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

[質疑応答]

・全中の結果について

委 員 氷見市内中学校の全中の参加状況と成績を教えてください。

事 務 局 今年度は5チームが出場した。ハンドボールは男子が西條中と北部中が出場し共に2回戦敗退、女子は十三中が3位になった。北部中は強豪と当たったこともあり1回戦敗退となった。野球については北部中が出場し、準々決勝で敗退となった。

事務局 健闘してくれたのではないかと思います。

・芸術文化館について

委員 先月18日に芸術文化館の見学会があり、大変素晴らしくなっていると感心したところである。市外から来る方が氷見トンネルを降りたらちょうど目の前に見えるが、大きな看板のようなものを取り付ける予定があるのか。

事務局 サイン板については現在考えていると聞いている。また、バス停の名前の変更も要望しているところである。

(3) 協議内容

案件第1号は天坂中央公民館長、案件第2号及び案件第3号は天坂教育総務課長、案件第4号は大野博物館長が説明し、それぞれ可決された。報告第1号は竹ロススポーツ振興課長が説明した。

(4) その他 令和4年度全国学力・学習状況調査 本市の結果について山口教育総合センター所長、令和4年度卒業証書授与式及び令和5年度入学式等(案)について濱井参事、9月の行事予定を各所属長が説明した。

[質疑応答]

・教育文化センターについて

委員 美の四人展について、教育文化センターで最後ということであり、今年の市展はふれあいスポーツセンターで実施するということだが、9月いっぱいをもって教育文化センターの4階は閉館するということか。

事務局 中高生の学び以外の一般利用はできなくなる。和室も茶道のみ4年度暫定的に利用することとしている。

委員 書道のグループがよく4階で書道展を開いていたが、そのようなものは今後どこでやることになるのか。

事務局 基本は芸術文化館となる。どの部分を使うかは個別に相談となる。

(5) 事務局より10月の定例教育委員会議を10月27日(木)午後3時に開催する旨を決定した。

(6) 閉 会 午後3時55分

令和4年9月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年9月29日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂教育総務課長(中央公民館長)、大野博物館長、山口教育総合センター所長、竹口スポーツ振興課長、川上教育総務課主査

5 協議事項

【付議案件】

(1) 案件第1号 氷見市教育委員会行政組織規則等の一部改正について(教育総務課)

(2) 案件第2号 氷見市公民館条例施行規則の一部改正について(中央公民館)

【報告案件】

(1) 報告第1号 特別展「大火、氷見町をおそう」の開催について(博物館)

(2) 報告第2号 令和4年度氷見市児童生徒科学作品展覧会について(教育総合センター)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年8月26日(金)から9月29日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

また、市議会9月定例会の一般質問要旨を天坂教育総務課長、濱井参事、竹口スポーツ振興課長が報告した

[質疑応答]

・令和5年度における氷見高校の定員減について

委 員	市長が令和5年度における氷見高校の定員減について、4つの理由から反対する旨を答弁された。まさに、おっしゃるとおりで我々も悔しい思いをしている。こうなってしまうと定員減は避けられないのだろう。
-----	---

事務局	非常に残念な県の考え方だと思う。
委員	氷見高校、有磯高校共に苦々しい決断の上に、お互いに妥協し現在の3クラスずつの学級編成になった。総合制高校としてのバランスを保って欲しかったという気持ちである。
事務局	特色ある学校づくりということで、全国的にも普通科の在り方が問われている。もしかしたら氷見高校も新しい学校(普通科)づくりとして進めているのかとも思うが……。また、しっかりと意見は述べていきたい。

(3) 協議内容

案件第1号は天坂教育総務課長(10月1日以降の配置図及び所掌業務も説明)、案件第2号は天坂中央公民館長が説明し、それぞれ可決された。報告第1号は大野博物館長、報告第2号は山口教育総合センター所長が説明した。

・中央公民館について

委員	中央公民館が無くなるということは、中央公民館で行っていたことはすべて文化振興課で担当することになるのか。
事務局	そのとおりです。

・科学作品展について

委員	今年の出品目録について小学1年生がゼロということだが、何かあったのか。それともたまたまゼロだったのか。小学校3年生、4年生についても1つとか2つとか以前に比べ低調な感じだが、ぜひ傾向分析を行ってほしい。また、今年は銅賞を努力賞に変更したが、反響はあったか。
事務局	出品の傾向については、学校から何か特別な働きかけをしたということはないと思われるが、また分析を行いたい。努力書についても特に何かご意見をいただくということは今のところない。
委員	各学校によって先生の呼びかけ(夏休みの課題として科学作品の作成が必要か否か)は違うのか。
事務局	学校ごとに指定していると思う。必ずしも科学作品の提出を必須としているわけではなく、いくつかの課題の中から選択して出すということになっていると思う。
委員	かつては、科学作品の提出を推奨していたことがあったのではないかと思う。現在はそうではなくなっているが、子どもとその家族と一緒に作成に取り組むことで、科学等に興味を持つ子どもも増えてくるので、もう少し出品点数が増えるよう働きかけたほうが良いのではと思う。

事務局 | 今の時代、親子でどこか遊びに行くといった時間もなかなか取れなくなっている
ので、負担をへらしてそのような時間に充ててもらおうといった流れなのかなと思うが、
1つのことを突き詰めて研究する子どもは減ってきていると感じる。学校で強制では
ないが科学作品を選択してもらえよう働きかけの工夫をしてみることも必要かと思
う。

(3) その他 10月の行事予定を各所属長が説明した。

・シーサイドマラソンについて

委員 | コースはいくつあるのか。

事務局 | ファミリー(900m)コース、2kmコース、4kmコースの3つである。

委員 | 昔は10kmコースがあったが、今は無いのか。

事務局 | 記念大会では設けたこともあるが、交通規制の関係等や参加者の大半が氷見市
民であること等を総合すれば、現行の3つのコースが参加しやすいのではないかと
考える。

委員 | 時間制限はあるのか。

事務局 | 特に設けていない。それも短いコースの利点であると思っている。

(5) 事務局より11月の定例教育委員会議を11月24日(木)午後3時に開催する旨を決定した。

(6) 閉 会 午後4時15分

令和4年10月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年10月27日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市教育文化センター 3階 第1会議室

3 出席者 湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員
(鎌仲教育長、關野洋香委員は欠席)

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、瀨井参事、天坂学校教育課長、山口教育総合センター所長、布尾文化振興課長、大野博物館長、竹口スポーツ振興課長、川上学校教育課主査

5 協議事項

【報告案件】

(1) 報告第1号 ～氷見市制施行70周年記念～令和4年度「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業 CHIKO(チコ)氏(歌手) 講演会の開催について(教育総合センター)

6 会議内容

(1) 湖東職務代理者の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年9月30日(金)から10月27日(木)までの教育委員会所管事項を、天坂学校教育課長が報告した。

[質疑応答]

・富山県市町村教育委員会連合会の研修について

委員 要望だが、10月6日に富山県市町村教育委員会連合会の研修があり参加した。文科省職員のリモートの研修だったが、リモートであれば富山へ行かなくても聞けるはずなので、もう少しやり方を考えてもらいたい。

委員 このことについては、要望できるのか。

事務局 参加市町村の意見として伝えることは可能であるので、こちらから連合会にお伝えしておく。

・芸術文化館について

委員 カラスの糞で文化館が汚されていると、近隣の方から心配の声があるのを聞いたが、教育委員会には入ってきていないか。

事務局 とまるところができて、カラスが集まってくるようになったとは聞いているが、具体的な対策までには至っていない状況である。

・山森財団について

委員 山森財団の建物について、どのような利用があるのか具体的に教えてほしい。

事務局 オープニングセレモニーに教育長が参加し財団の方々と意見交換をしたところ、利用方法は今後考えていくということだが、案としては例えば都会の子どもたちを体験学習と呼んで、西の杜学園の子どもたちと一緒に体験をした後、そこにゲストハウスのように宿泊してもらおうといったことや、大人の方でも氷見に来ていただいて田舎ならではの体験をしながら宿泊してもらおうといった話が出ていたと聞いている。

あと、昼食として蕎麦が出たそうで、とても美味しかったとのことだが、蕎麦や地元の方が作る料理を出すことで地域振興を図りたいという意見も出ていたようである。

市長は、せっかく建物ができたので教育委員会として何か、児童生徒が使えるようにイベントなどを計画してはどうかという話があった。山森氏は西の杜学園に対して力を入れていただいているので、校長先生とは話をされているのかもしれないが、具体的にいつ何をやるかまでは決まっていないということであった。

委員 市に建物を寄附されたわけではないのか。

事務局 寄附されたわけではない。あくまで財団所有の建物である。

委員 営利目的ではないとのことだが、運営費用はどうするのか。

事務局 財団が負担する。

(3) 協議内容

報告第1号について、山口教育総合センター所長が説明した。

・令和4年度「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業について

委員 会場は芸術文化館で市内全部の中学2年生が対象となっているが、移動はどうするのか。

事務局 スクールバス、大型バスを利用する。その費用は事業の予算として計上している。

委員 一般の方は参加可能なのか。

事務局 一般となっているが対象は中学2年生の保護者の方で、学校を通じて案内をして

いる。座席数の関係で、どなたでも参加できる形にはしていない。

委員 400名となっているが、中学生を除いたら席はどのくらいあるか。

事務局 保護者の方がどれだけ来られるかは把握できていないが、50席くらいはあると思う。

委員 今年、好評で、来年度参加したい方が多い場合は、予算を増額して対応するのか。

事務局 あくまで、中学2年生が対象の事業なので、この事業での増額は難しい。好評で次年度は一般の方も参加できるようにということであれば、別のイベント開催の予算で対応することが適当であると考えている。

委員 例年開催している小学校の音楽会だが、今年はどこで実施する予定か。

事務局 芸術文化館で実施する。その旨、本日、案内状を置かせていただいている。ぜひご覧いただきたい。

(4)その他 11月の行事予定を各所属長が説明した。

※ICT教育アワードにおける総務大臣賞受賞について、天坂学校教育課長が説明した。

(5)事務局より12月の定例教育委員会議を12月22日(木)午後3時に開催する旨を決定した。

・合同華道展について

委員 芸術文化館で行うということだが、どのスペースを利用するのか。

事務局 入口からの階段を上がってすぐのエントランスロビーを半分程度、活用すると伺っている。

・学校給食について

委員 給食センターが新しくなったが、氷見の食材は十分に使われているか。また、アレルギーがある子どもには、氷見の食材をどのように提供しているか。

事務局 氷見の食材は、農林畜産課とも連携しており、農林畜産課で氷見市の生産者から食材を卸すという事業をしている。毎年少しずつ食材の利用率は上がっており、今年度は実験的にじゃがいもの貯蔵庫を農林の予算で作って、旬の時期が過ぎても提供する取り組みもしている。魚については水産振興課の事業で、価格が高い分を抑えて少しでも多く氷見の魚をたべてもらう取り組みもしている。

アレルギー対応については、小松菜などあまりアレルギーの代表的な食材ではないので該当は少ないと考える。

・新型コロナウイルス感染症の状況について

- | | |
|-------|--|
| 委 員 | 一昨日、窪小学校の学校訪問研修に参加したが、数名の子どもたちがコロナで欠席していた。西條中学校も多いと聞いたが現状はどうか。また、小中学校における希望者へのワクチン接種についてもどのような状況にあるのか。 |
| 事 務 局 | 現在、西条校区で流行している。他はそれほどではない。感染経路を学校で把握するようにしており、今のところ学級閉鎖までする状況ではない。 |
| 事 務 局 | ワクチン接種については、県内の1回目の接種状況を見ても氷見は低くないので、2回目についてもある程度受けていただけたらと思う。健康課を通して文書を送るなどして、できるだけ受けていただくよう促したい。 |
| 委 員 | ワクチン接種のために学校を休んで病院へ行った場合の取り扱いはどうなるか。 |
| 事 務 局 | ワクチン接種及びその副作用による場合は、風邪とはちがいがい欠席にはならない。 |

(6) 閉 会 午後3時45分

令和4年11月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年11月24日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

濱井参事、天坂学校教育課長、布尾文化振興課長、竹口スポーツ振興課長、川上学校教育課主査

5 協議事項

【付議案件】

(1) 案件第1号 令和4年度12月補正予算(案)について(学校教育課ほか)

6 会議内容

(1) 鎌仲教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年10月28日(金)から11月24日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

[質疑応答]

・芸術文化館について

委 員 昨日、芸能鑑賞会があったが、トイレの数が少ないことや一般的なものとは違ったマークのため場所がわかりづらかったとの意見があった。何か対応を考えてもらえるか。

事 務 局 数については変えられない。キャパシティに対応した数は設置されているが、そのような声もあるということで、場所の周知を図っていく。マークについてはそういった声もあることは承知しており、行事によってはトイレの場所を別に案内している。マーク自体を変えることは難しいので、周知して覚えていただくということになるかと思う。

委 員 催し物(特に子どもたちが集まるような)があるときには、別の場所のトイレも使えるということを案内すればよいと思う。

(3) 協議内容

案件第1号について、天坂学校教育課長が説明した。

・ふれあいスポーツセンターについて

委 員 雨漏りは相当ひどいのか。

事 務 局 サブアリーナで慢性的に雨漏りしている。原因究明のため軒を調査したが、当初設計を行った事業者に見てもらわないと緊急性等が判断できないとのことだったため、12月補正で軒の辺全体を調査する予算を計上している。

・柳田布尾山古墳について

委 員 布尾山古墳の管理は下の駐車場にあるトイレも入るのか。

事 務 局 入っている。

委 員 結構、利用される方がたくさんおられるようであるし、花壇やトイレの屋根が大きなトラックが原因で破損したりしているようだが、どうにかならないかと思う。

・登下校情報配信について

委 員 これまでトラブルとかはないか。

事 務 局 学校から報告されているものはない。

(4) その他

虻が島のクロマツ植樹及び二十歳のつどいについて布尾課長が説明した。

・虻が島のクロマツ植樹について

委 員 何本ほど残る想定か。

事 務 局 現在10本ということで、それくらい残っていけばよいと思っている。

12月の行事予定を各所属長が説明した。

・部活動の地域移行について

- 事務局 部活動の地域移行については、非常に対応が難しい。部活動のあり方検討委員会から意見をいただきながら、できるところからゆっくり無理なく進めていく。
- 委員 世の中の趨勢は専ら教員の働き方改革に焦点を当てて議論がなされていると思うが、部活動による子どもの育成の効果であるとか、教員の中にも一生懸命部活動に携わっている方もいると思う。そんな方をどう活かしていけばいいのか、一律に働き方改革の議論だけで進めていくのは違うのではないかと思う。
- 委員 切り替えの時が一番難しい。部活動をしながら、思いやりの心とか頑張る心とか、いろいろな心が育つので、それをどううまく育てていくか。先生の業務としての取り扱いも氷見市ならではのものを考えればよいと思う。

・タブレットによるリモート授業について

- 委員 コロナで陽性又は濃厚接触者となって子どもが自宅にいないといけなくなった場合に、学校によってはリモート授業に対応してもらえなかったという声も聞くが、可否について、どなたの判断で決めているのか気になっている。
- 事務局 期間はだいぶ短くなってきたので、学校に来てから対処しようというケースが多いのではないかと思う。
- 委員 リモートで授業をしてもらえないことを知らない人もおり、子どもから聞いて初めてそのような対応をしてくれると知った方もいると聞いた。
- 事務局 その子だけの特別な授業はできないが、流すだけは技術的に可能である。まったく受け付けないということはないはずなので、学校で個に応じて対応していると思う。

(5) 事務局より令和5年1月の定例教育委員会議を1月26日(木)午後3時に開催する旨を決定した。

(6) 閉会 午後4時5分

令和4年12月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和4年12月22日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂学校教育課長、布尾文化振興課長、竹口スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、大野博物館長、川上学校教育課主査

5 協議事項

【付議案件】

- (1) 報告第1号 令和4年度教育論文・教育実践記録募集及び表彰式等について(教育総合センター)
- (2) 報告第2号 令和5年「二十歳のつどい」の開催について(文化振興課)
- (3) 報告第3号 「第69回文化財防火デー」に伴う消防訓練の実施について(博物館)

6 会議内容

(1) 鎌仲教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年11月25日(金)から12月22日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

また、市議会12月定例会の代表質問及び一般質問要旨を天坂学校教育課長、濱井参事、布尾文化振興課長、竹口スポーツ振興課長が報告した

[質疑応答]

・学校施設等の長寿命化について

委 員 ほとんどの学校が、よく似た時代に建てられたと思うが、窪小学校や宮田小学校は古い感じがする。建てられた年代はどのような感じか。

事 務 局 実際に古い学校の順では湖南小学校が築後49年、北部中学校が48年、窪小学校が46年、宮田小学校が45年、比美乃江小学校が43年である。

築年数と実際の目視により健全度を判定している。その点数が低いものから実施すると、窪小学校、北部中学校、比美乃江小学校、西條中学校ということになる。

事務局 西條中学校は、計画の中でも後の方だが、その都度、必要な修繕をしながら改修を入れていく形になる。

・芸術文化館について

委員 副市長の答弁の中で、芸術文化館の目標を実現するには、まだまだ課題があるとおっしゃっているが、どのような課題があるのか。課題が見えないことには実現の方策が生まれえないと思う。

事務局 今、スタートしたばかりで、管理運営基本方針の中では市民の活動を助長するような事業を実施していくことが書かれているが、現状、オープニングの事業をスタートさせるだけで精一杯となっている。今後は、市民を巻き込んだ活動を制度設計していく必要があること等だと認識している。

委員 ちょっと漠然としていないか。もう少し具体的なものがないと答えが生まれてこないような気がするが。

事務局 もっと市民提案を受け付けて、それを実現していくような仕組みを検討していく必要があるということを財団内部でも話しており、市民の参画をどのようにしていただくかが大きな課題の1つである。

委員 市長の答弁で民間事業者について手が挙がるのを待っているといった内容があるが、どのような事業者を望んでいるのか。

事務局 飲食系の事業者を導入したいという希望がもともとあった。令和2年6月まで公募をかけていて数件の問い合わせはあったが、コロナ禍により提案には至らなかった。飲食系の事業者を導入したいという考えは現在も引き続き持っており、利用者からそういったものもあってほしいとのご意見もあることから、市としてもあきらめたくはないが、経済状況等もありなかなか難しい。一定程度、平日も含めて賑わいが見込めるのであれば、考えていただける事業者も出てくるという期待を込めて答弁したものである。

委員 毎日ではなくても、土日に限って出店してくださるお店がないか、市内のお店にアンケートを取ったことがあるか。

事務局 今のところは、キッチンカー系のところには声掛けをして、定期的に出店していただけるよう調整している。そのようなお店が日替わりで出店するような状況になれば賑わいにつながると考えているが、最終的には施設として営業してもらうことができればと思っている。

委員 お土産みたいなものを用意される予定はあるか。

事務局 施設としての商品開発には、また至っていない。

(3) 協議内容

報告第1号について山口教育総合センター所長、報告第2号について布尾課長、報告第3号について大野博物館長が説明した。

[質疑応答]

・2分の1成人式について

委 員 成人年齢が18歳に変わったが、今後、対象はどのようになるのか。

事 務 局 本来なら18歳の半分の9歳だが、小学校4年生である10歳の頃が社会についてよく学ぶ時期であることから、これまで通り10歳のお子さんを対象とする方針である。2分の1成人式に変わる名称とすることも難しいことから、そのままの名称で事業を実施する予定である。

・教育論文について

委 員 審査についてはセンターの先生方がされるようになったが、大変良いことだと思う。表彰式の折に所長さんが講評されてよかったと思う。

教育論文・教育実践記録と併記されているが、評価の基準は違うと思う。いかに子どもに寄り添ったきめ細かな実践を行い、それが記録されているかという基準をしっかりとたてて評価していただけるとよいと思う。

(4) その他

氷見市の令和5年度の休日中学校運動部活動の地域移行について、竹口課長が説明した。

令和5年1月の行事予定を各所属長が説明した。

(5) 事務局より令和5年2月の定例教育委員会議を2月21日(火)午後3時に開催(午後1時から総合教育会議を実施し、その後引き続き実施)する旨を決定した。

今年度の卒業式への教育委員の参加について、濱井参事が説明した。

(6) 閉 会 午後4時33分

令和5年1月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和5年1月26日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂学校教育課長、布尾文化振興課長、竹口スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、釜田学校教育課長補佐

5 協議事項

【付議案件】

- (1) 報告第1号 令和3年度事業の点検・評価について(学校教育課)
- (2) 報告第2号 令和4年度 教育論文・教育実践記録審査について(教育総合センター)
- (3) 報告第3号 令和5年度 適応指導教室「あさひ」の名称変更について(教育総合センター)
- (4) 報告第4号 第49回氷見市青少年意見発表大会の開催について(文化振興課)

6 会議内容

(1) 鎌仲教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和4年12月23日(金)から令和5年1月26日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

(3) 協議内容

報告第1号について天坂学校教育課長、報告第2号及び第3号について山口教育総合センター所長、報告第4号について布尾文化振興課長が説明した。

[質疑応答]

・氷見市青少年意見発表大会について

委 員	この大会については、最初はふれあいスポーツセンターで開催され、次はいきいき元気館で開催された。そして、今回から芸術文化館ホールで開催するということだが、これまで観客の集まりが少なかった経緯がある。新しい施設で実施したいということだと思うが、800人収容可能なホールで人があまりにも少ないと格好がつかない。何か、皆に集まってもらう手立てを考えないといけないのではないか。
-----	--

事務局	芸術文化館が完成したということで、ぜひホールで発表させてあげたいということもあって、ホールでの実施に決めた。今年状況を見ながら次年度の検討材料としてと考えている。人が集まるように周知に努めたい。
事務局	両サイド等を使わず、真ん中だけ使う想定なのか。
事務局	入場者数が読めないところもあるが、1階席を1席ずつ空けて使用し、2階席は使わないこととしたいと考えている。
委員	テレビで放送されるので、映し方を工夫してもらったらよいのではないか。
委員	いきいき元気館のホールはもう使えないのか。
事務局	改修工事に入ってしまったので、使用できない。

(4)その他

氷見市の令和5年度の休日中学校運動部活動の地域移行について、竹口課長が説明した。
学校給食費について天坂課長が説明した。

・休日中学校運動部活動の地域移行について

委員	文部科学省が予算を取らなかったということは、国はあまりやる気ないのではと感じる。財務省においてもその必要性を認めなかったから予算がつかなかったということにほかならないと思う。現状は、従来通りということになると思うが、学校の部活動はどんどん変わってきている。毎日であったものが休みも入るようになってきた。全員部活動制ではなくなったことも変化の一つだと思う。今後、子どもたちが例えば剣道教室とかに通うようになって、いずれは学校からだんだん部活動が離れていくのではと感じている。市があまり頑張る必要はないのではと思う。
----	--

・令和3年度事業の点検・評価について

委員	評価については、あくまで自己評価であり質問の仕方によって変わる。あんまり数字の変動に左右される必要はないのではと思う。ただ、心の教育の結果があまり良くなかった。心の教育は何より大事だと思うので、また、数値を上げる工夫をしていただきたい。
----	--

・給食のアレルギーについて

委員	多くのアレルギー品目を持っている子どもを持つ保護者がおられて、その方から聞いたのだが、2、3日に1回は子どものアレルギーになるようなものが入っていて、それを抜いてもらったら給食が半分以上食べられなかったり、楽しみなデザートとか食べられなかったりするとのことである。また、保護者もなかなか言い出しにくく、気づかないうち子どもが食べてしまうケースもあると聞く。まず、保護者はどのように学校に伝えればよいか。また、伝えたらどのように対応してもらえるのか。
事務局	学校でアレルギー調査を実施しているが、記載はされたのか。

委員	アレルギーがあることは書いたが、細かくは書いていないとのことだったので、細かく伝えた方が良くアドバイスしたが、やはり言いにくいらしい。
事務局	委員がおっしゃる通り、必ず伝えるべきである。学校が拒んでいるわけではないと思う。学校では皆で情報共有を行っており、保護者にも献立をチェックする作業をしてもらっている
事務局	アレルギーに関しては、命にかかわることなので学校も保護者も給食センターもすごく神経を使っているはずである。学校に細かく伝えていただければ、絶対にその食材を使った給食はいかないように、違う配膳をしている。品目が多いようであれば保護者が別のものを用意することも学校は認めているはずである。
事務局	料理に入ってしまったものでも、細かく伝えていただければ対応することは可能である。家から持ってくるということも可能であり、実際に事例もある。学校に細かく伝えていただくことがスタートかと思う。
事務局	面倒かもしれないが細かく学校へ伝えるように、保護者にお伝えいただきたい。
事務局	一度、医療機関でチェックしてもらった方が、本人のためにも良いし、今後、自分で判断できる力をつけさせてあげる必要もあるので、アドバイスしてあげていただきたい。

・氷見市青少年意見発表大会について

委員	いつも聞いているが、後ろの座席だとマイクを使わなくても聞こえたり、前の座席だとマイクを使っても聞こえなかったりする。今回は、マイクを使用するのか。
事務局	今回は使用する予定である。
委員	二十歳の集いでも前の方が聞こえづらかった。後ろの方はよく聞こえていたようだが。
事務局	催しの内容により、マイクを使った方が聞こえづらくなることもあるようである。使う方も配慮が必要。
事務局	マイクについては、財団と相談の上、調整する。

令和5年2月の行事予定を各所属長が説明した。

- (5) 事務局より令和5年3月の定例教育委員会議を3月20日(月)午後3時に開催する旨を決定した。

また臨時教育委員会議の開催について、決まり次第ご案内する旨を濱井参事が説明した。

(6) 閉 会 午後4時25分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員

令和5年2月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和5年2月21日(火) 午後2時50分

2 場 所 氷見市役所 全員協議会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂学校教育課長、布尾文化振興課長、竹口スポーツ振興課長、大野博物館長、川上学校教育課主査

5 協議事項

【付議案件】

- (1) 案件第1号 令和5年度当初予算(案)について(学校教育課)
- (2) 案件第2号 令和4年度3月補正予算(案)について(学校教育課)
- (3) 案件第3号 氷見市働く婦人の家条例を廃止する条例について(文化振興課)
- (4) 案件第4号 氷見市立博物館条例の一部改正について(博物館)

【報告案件】

- (1) 報告第1号 特別展「氷見の色」の開催について(博物館)

6 会議内容

(1) 鎌仲教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和5年1月27日(金)から令和5年2月21日(火)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

(3) 協議内容

案件第1号及び第2号について天坂学校教育課長、案件第3号について布尾文化振興課長、案件第4号及び報告第1号について大野博物館長が説明した。

(4) その他

NHKのど自慢の開催及びミニチュアライフ展について布尾文化振興課長が説明した。

【質疑応答】

・氷見高等学校野球部への支援について

委員 氷見高等学校野球部が21世紀枠で春の選抜高校野球大会に出場を決めた。21世紀枠での出場は全国で3校という狭き門を通過したということで、大変めでたいことである。ぜひ市としてもしっかりと支援してほしい。

事務局 出場が決定した1月27日に懸垂幕を旧同窓会館に設置し、庁舎正面に横断幕や特設コーナーを設置している。加えて本日、庁舎敷地入り口にも横看板を設置した。

また、2月10日の氷見高等学校野球部甲子園出場を応援する会の発会に合わせて、市のHPに特設ページを作成し、応援メッセージの募集や野球部等の情報を掲載しているほか、広報ひみ3月号での特集記事等の掲載や市政番組サンデーひみでの放映も今後予定しており、パブリックビューイングも検討している。

さらに、3月議会に氷見高校野球部への支援について上程し、激励することとしている。

30年ぶりの甲子園出場に、氷見高校野球部が憧れの甲子園で思いっきりプレーでき、市民一丸となって応援し、市全体が盛り上がるように、氷見高校や応援する会と連携を密にし、精一杯応援していく。

・虻が島の黒松について

委員 昨年、地域住民と子供たちで黒松の苗木を植えてもらった。現在の松は今からおよそ80年前に植えた松であり、それから今まで風雪に耐えて弱ってきている状態のため補植してもらった。なかなかはっきりとはわからないと思うが、およそ何本ほど生き残る想定で植えられたのか。また、虻が島の今後の保全計画及び観光への活用について市の考えを聞かせてほしい。

事務局 3年ものの苗木と聞いている。移植は31本行ったということで樹木匠から話を聞くところでは10～20%の定着を想定している。

保全計画について、島の浸食による縮小は現在見られないので、当面は、黒松の苗木の定着率の調査及びタカを用いたアオサギの追い払い調査を継続して行うこととしている。

観光への活用について、現在、虻が島への航路設定は「虻が島の保護・管理」のための瀬渡しを目的としており、「観光」での瀬渡しは認められていない。引き続き、ふるさと学習の一環として、「虻が島観察会」などを開催していきたい。

令和5年3月の行事予定を各所属長が説明した。また、小中学校・義務教育学校の卒業式におけるマスクの着用について濱井参事が説明した。

【質疑応答】

・ミニチュア展の会場について

委員 ミニチュアライフ展について、会場がマルチスペースとなっているが、どこにあるのか。

事務局 ホワイエの奥がマルチスペースとなっている。

(5) 事務局より令和5年4月の定例教育委員会議を4月27日(木)午後3時に開催する旨を決定した。
また、令和5年度の定例教育委員会議について各月指定の木曜日に開催する旨を決定した。

(6) 閉 会 午後3時53分

令和5年3月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和5年3月20日(月) 午後3時00分

2 場 所 氷見市役所 全員協議会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、森節子委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、天坂学校教育課長、布尾文化振興課長、竹口スポーツ振興課長、川上学校教育課主査

5 協議事項

【付議案件】

(1) 案件第1号 氷見市教育委員会行政組織規則等の一部改正について(学校教育課)

(2) 案件第2号 氷見市働く婦人の家条例施行規則を廃止する規則について(文化振興課)

6 会議内容

(1) 鎌仲教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和5年2月22日(水)から令和5年3月20日(月)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。また、市議会3月定例会の代表質問及び一般質問要旨を天坂学校教育課長、濱井参事、布尾文化振興課長、竹口スポーツ振興課長が報告した

【質疑応答】

・スポーツ施設の長寿命化について

委 員 ふれあいスポーツセンターの改修工事中は、開催している教室等は休みになるのか。

事 務 局 現在の段階では改修範囲等もわかっていないため、はっきりしたことは申し上げられないが、利用者の安全や利便性もあるので、利用できない期間をなるべく短くする等の配慮は検討していきたい。

(3) 協議内容

案件第1号について天坂学校教育課長、案件第2号について布尾文化振興課長が説明した。

(4) その他

芸術文化館の令和5年度ラインナップ等について布尾文化振興課長が説明した。

令和5年4月の行事予定を各所属長が説明した。

(5) 事務局より令和5年5月の定例教育委員会議を5月25日(木)午後3時に開催する旨を決定した。

(6) 閉 会 午後3時59分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員